

資料1

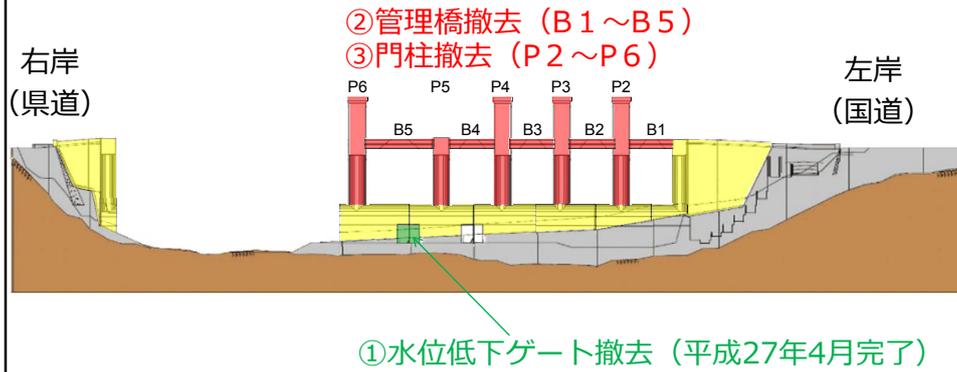
荒瀬ダム撤去工事概要について

熊本県企業局
荒瀬ダム撤去室

1 撤去工事等について

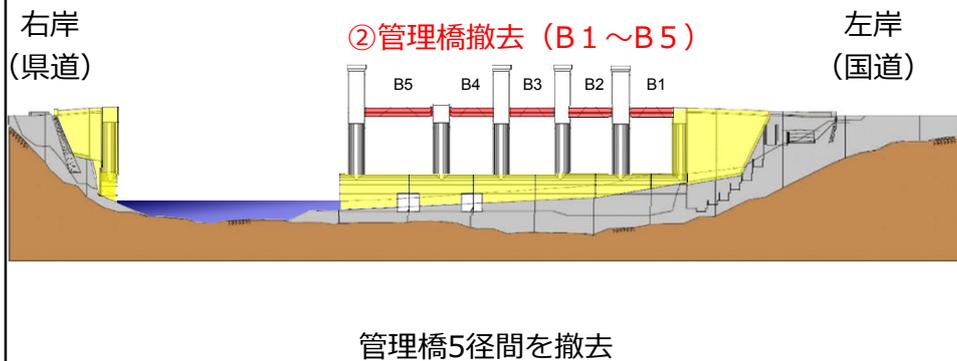
【ダム本体撤去工事について】

(平成27年度工事)

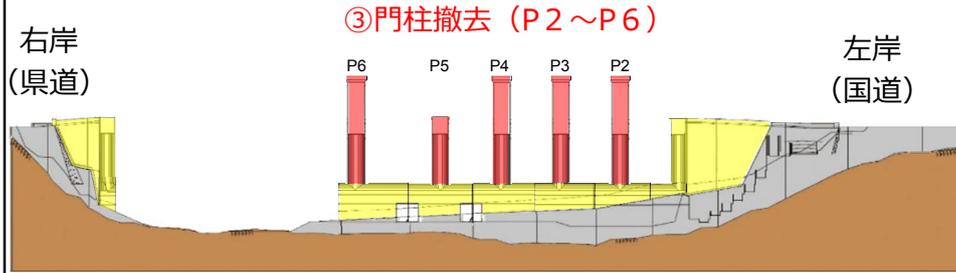


②管理橋の撤去

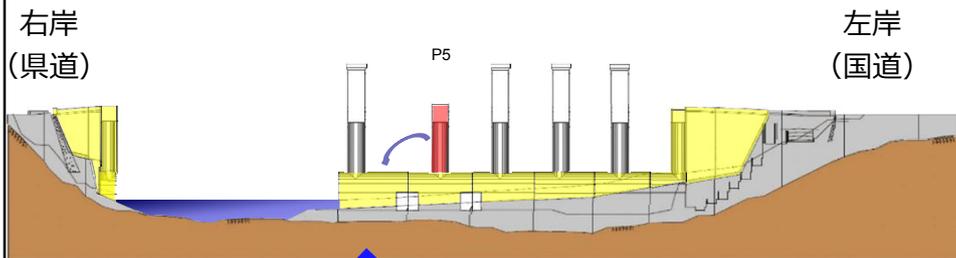
平成27年度 (8月~10月)



(平成27年度工事)



③門柱の撤去



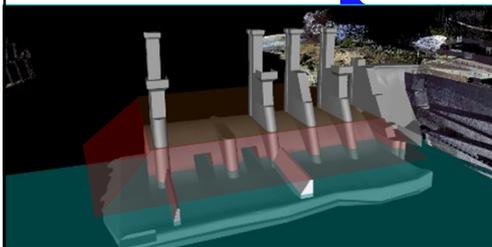
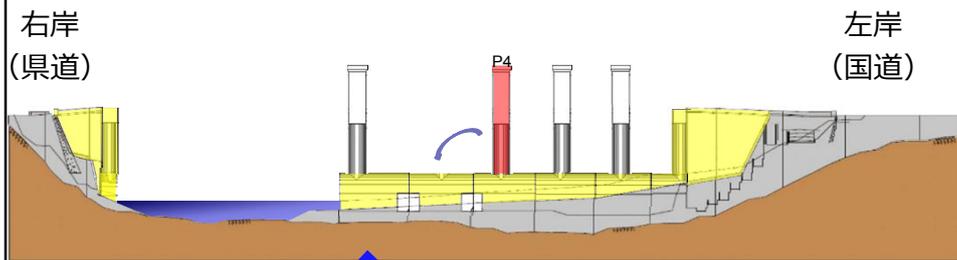
P5を倒壊発破で倒し撤去

③門柱の撤去

P 5 の倒壊発破



③門柱の撤去



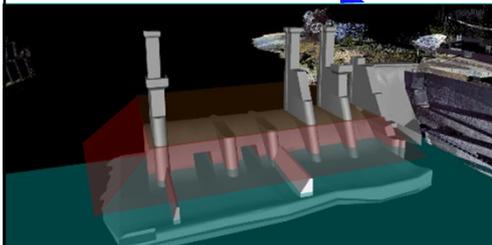
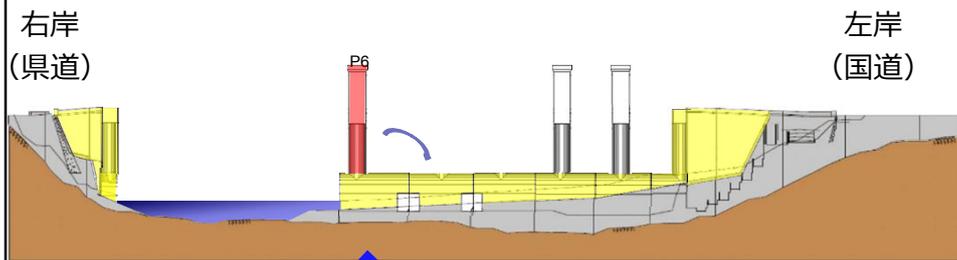
P4を倒壊発破で倒し撤去

③門柱の撤去

P 4の倒壊発破

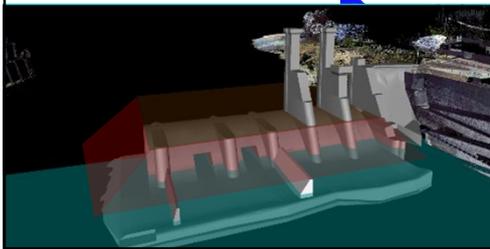
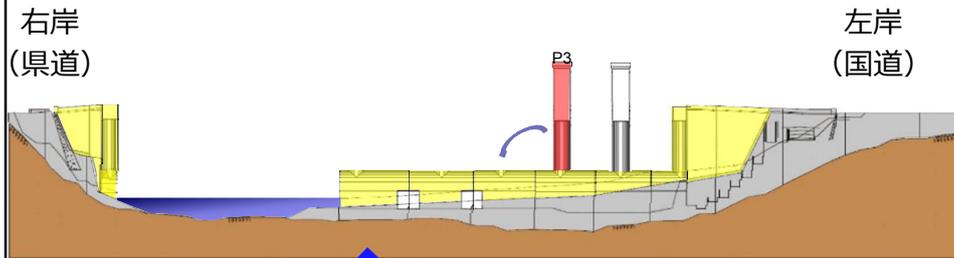


③門柱の撤去



P6を倒壊発破で倒し撤去する

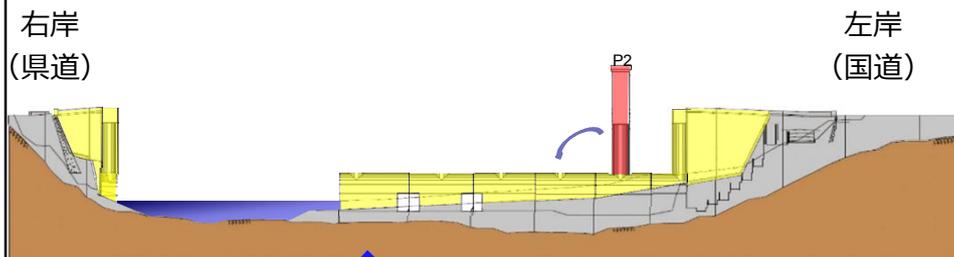
③門柱の撤去



P3を倒壊発破で倒し撤去する

11

③門柱の撤去



P2を倒壊発破で倒し撤去する

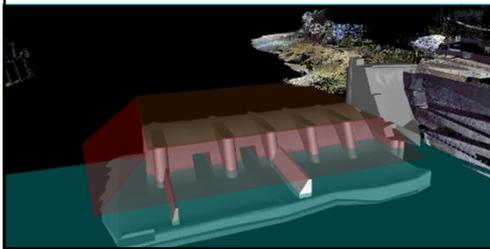
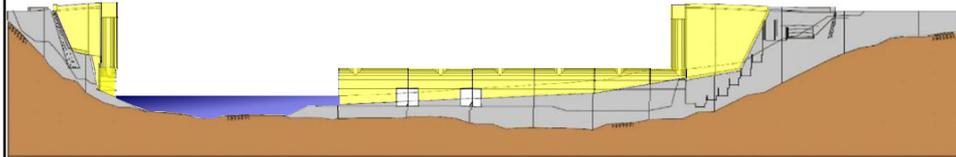
12

③門柱の撤去

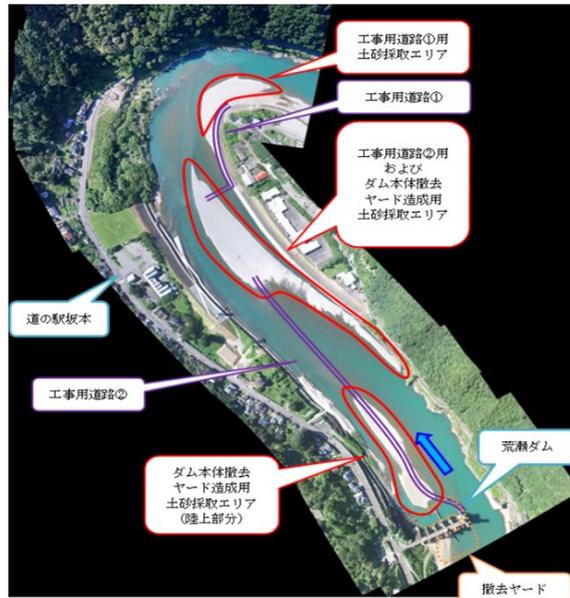
第4段階完了

右岸
(県道)

左岸
(国道)



荒瀬ダム下流



荒瀬ダム上流（佐瀬野地区）



発破の実施について

- 時期：平成 27 年 1 2 月 ~ (日曜、祭日を除く)
 - 時間：14 時 30 分 ~ 14 時 40 分 (10 分間)
 - 回数：1 日 1 回 (約 20 回を予定)
- ※発破時間の変更については事前に案内看板等で掲示します

◎ 国道 219 号及び県道中津道八代線の立入規制を実施
規制箇所：ダム上～下流 約 600m

【規制箇所（荒瀬ダム周辺）】

【予告・周知看板】

**荒瀬ダム撤去工事による
発破作業のお知らせ**

日曜は、荒瀬ダム本体等撤去工事に影響がございません。
ダム本体撤去に伴って、一部道路の通行止めを行います。

工事期間	自 平成 24 年 4 月 1 日
	至 平成 30 年 3 月 20 日
発破場所	熊本県 八代市 坂本町 荒瀬 地区
発破時間	～

本日の予定 発破作業 ありです。

発破告知の方法 サイレンと拡声器で告知します。

- ・発破 3 分前 サイレン 3 分×3 回
- ・発破 1 分前 サイレン 10 分×1 回
- ・発破 10 秒前 (形紙が発破 10 秒前、……3.2.1. 点火)
- ・発破終了 サイレン 5 分×1 回

荒瀬ダム本体等撤去工事
フジタ・中山建設工事共同企業体
所長 室田 和隆
連絡先 0965-45-2288

本日
※発破当日に張り替え

予告
●月●日
荒瀬ダム
附近
国道 219 号
県道 158 号

**14 時 30 分
から
10 分間**

発破作業に伴う
時間全面
通行止め



【撤去関連工事について】

【H27年度 関連工事実施箇所】

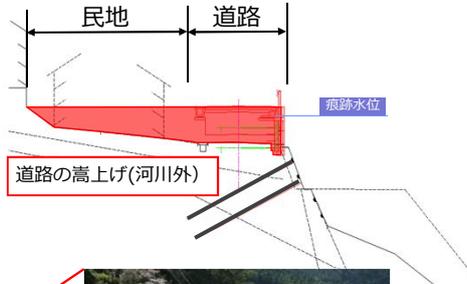


① 県道中津道八代線道路高上工事

H26施工状況
(三坂地区)



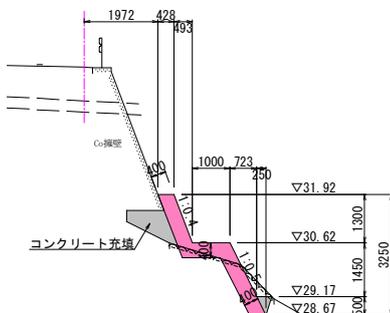
施工箇所：三坂地区
工期：H27.10～H28.3
概要：道路高上、舗装 約L=470m



② 県道中津道八代線路側構造物補強工事
③ 国道219号路側構造物補強工事

H25施工状況
(与奈久地区)

施工箇所：要対策箇所
概要：根継工等



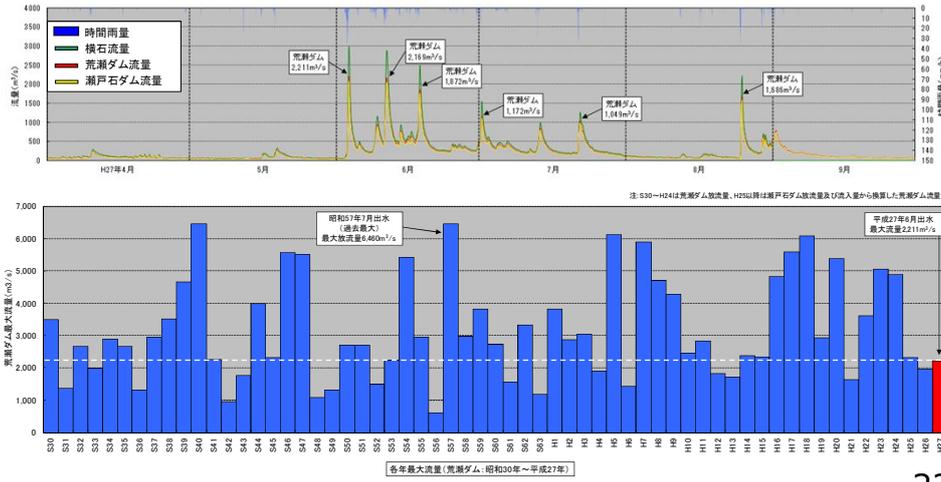
【環境モニタリング調査結果について】 (中間報告)

- 今年度調査のうち、流量、水質(常時観測・出水時調査)及び基盤環境(物理環境の定期モニタリング)について報告する(下表、黄色着色部分)

項目	内容	平成27年												平成28年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
基礎項目	水象	流量														
	基盤環境	河川形状	横断・深達測量													
		基盤環境の資源	斜め航空写真撮影													
	底質	粒度組成	定点風景・河床撮影													
	基盤環境	基盤環境の資源	河川物理環境情報誌													
スケジューズ	水質	【常時観測】 pH、濁度、DO														
		【定時観測】 pH、濁度、DO、BOD、TKL、TP、水温、SS他														
		【出水時観測】 濁度、SS、SS、粒度組成他														
スケジューズ	植物	付着藻類														
	動物	水生動物														
	動物	水生動物(重要な種)														
	鳥類															
	鳥類															
スケジューズ	基盤環境	物理環境の定期モニタリング														
	基盤環境	下代湖沼群植生調査														
	動物	アユの育内動物調査														
	植物	ベルトランセット														
工事関係項目	大気汚染	粉じん等														
	騒音振動	特定建設機械の騒音														
	騒音振動	発塵作業														

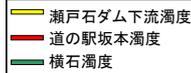
— 実施済み
— 予定

- 平成27年4～9月において、2,000m³/s台の出水が2回（6月）、1,000m³/s台の出水が4回（6月、7月、8月）発生した。
- 6月の出水は過去61年間で第44位（確率3/4程度）の出水規模。

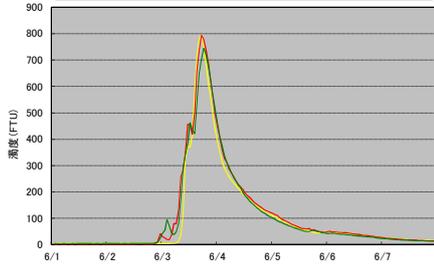


- 出水時、ダム上下流の濁度に差はなく、下流への影響は特に見られなかった。

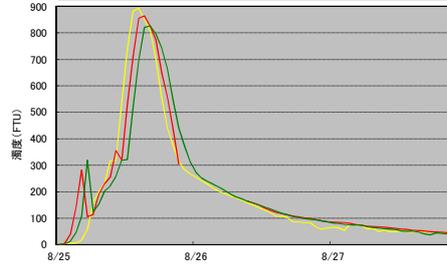
3地点の濁度の比較



【道の駅坂本地点ピーク濁度 793FTU】

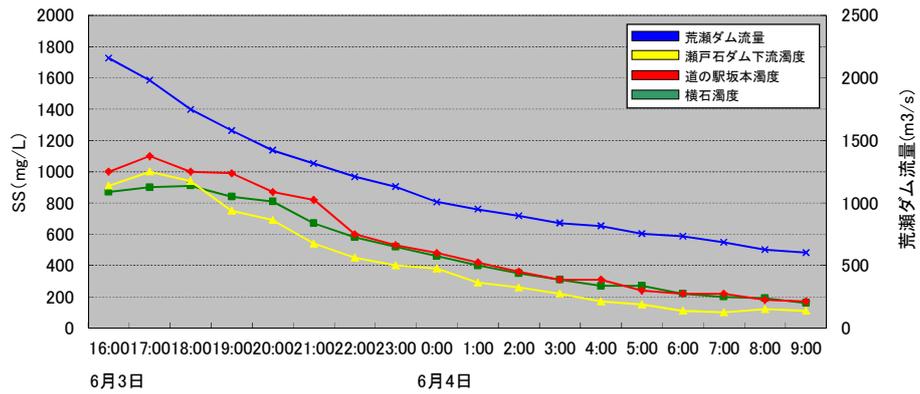


【道の駅坂本地点ピーク濁度 864FTU】

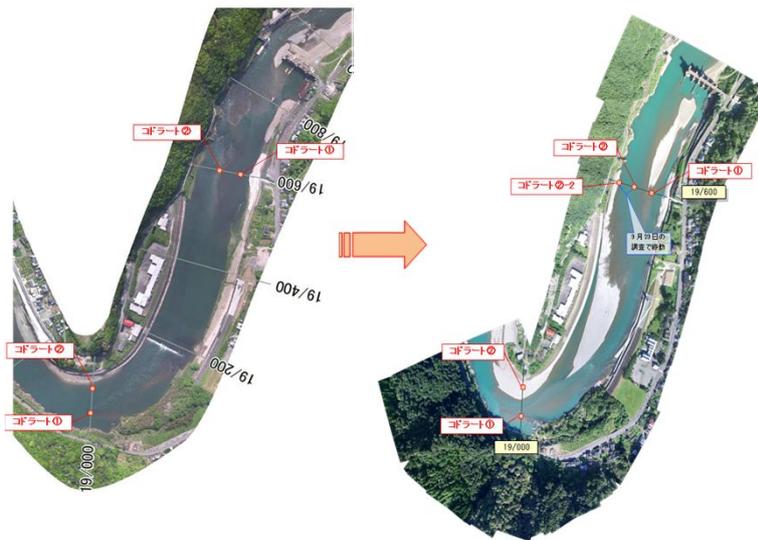


- 全般的に、ダム直下流（道の駅坂本）の方が上流（瀬戸石ダム下流）よりも高い傾向が見られた。しかし、時間とともに差は縮小している。
- ダム上流の堆積土砂の影響は小さかったと考えられる。

3地点のSSの比較

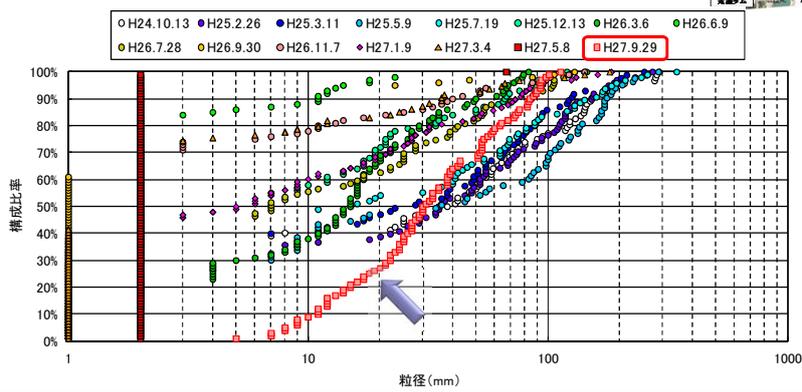


- 19k000と19k600の調査測線の横断形状が変化した
- 水深や流速が変化したため、9月の調査では面積格子法の一部を実施



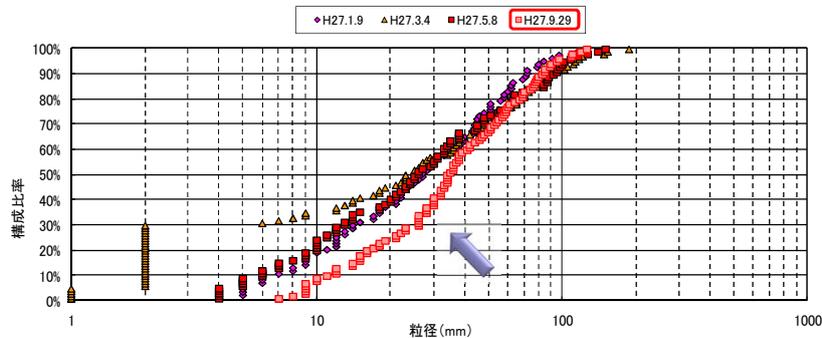
- 面積格子法の19k0[蛇行部]の右岸[内岸側]では、みお筋部撤去(H27年3月)後の6~7月の連続的な小中規模出水により、9月の調査では粗粒化する傾向が見られた。

粒度加積曲線（面積格子法）
19k0 [蛇行部] の右岸 [内岸側]



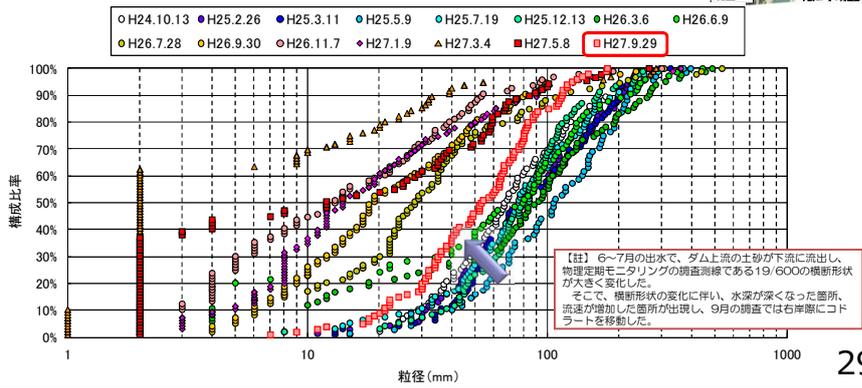
- 面積格子法の19k6[ダム直下流の直線部]の左岸では、みお筋部撤去(H27年3月)後の6~7月の連続的な小中規模出水により、9月には粗粒化する傾向が見られた。

粒度加積曲線（面積格子法）
19k6 [ダム直下流の直線部] の左岸



- 面積格子法の19k6[ダム直下流の直線部]の右岸では、みお筋部撤去（H27年3月）後の6～7月の連続的な小中規模出水により、9月には粗粒化する傾向が見られた。

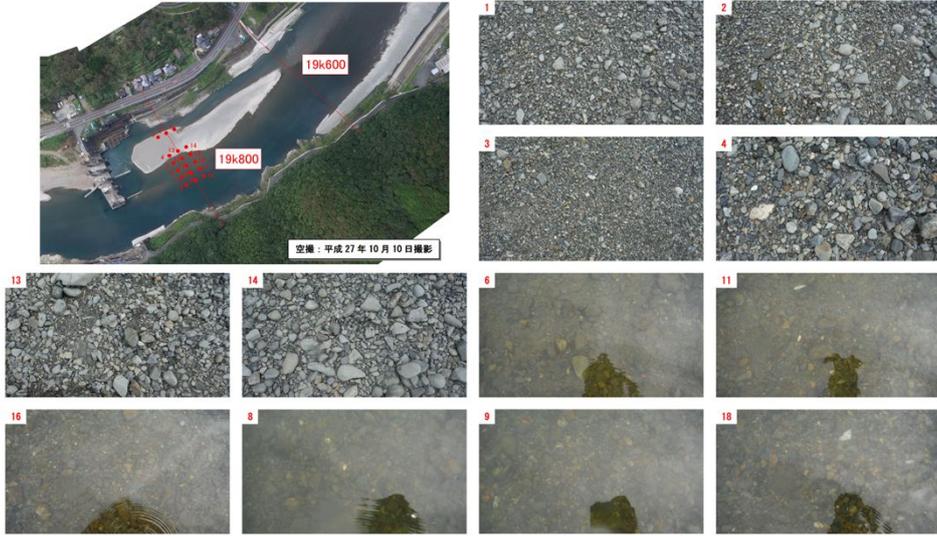
粒度加積曲線（面積格子法）
19k6 [ダム直下流の直線部] の右岸



地上写真19k0



地上写真19k8



終了